

千葉歴史の散歩道

「文化財探検隊」「土器ッと古代“宅配便”」

～文化財をもっと身近に！～

文化財課文化財普及・管理班主任上席文化財主事

なりた きみとし
成田 公敏



本県には多くの遺跡が存在する。平成 29 年には千葉市の「加曽利貝塚」が国の特別史跡に指定されているが、特別史跡は史跡のうち、特に重要なもので、日本文化の象徴と評価されたものである。

このような歴史的価値の高い史跡が多く存在する本県で、身近に歴史に触れることができる事業「文化財探検隊」と「出土文化財管理活用事業」の一つである「土器ッと古代“宅配便”」について紹介する。

1 「文化財探検隊」

「文化財探検隊」は年に 3 回「地域の文化財や名所等をめぐることにより、郷土の自然、歴史、文化等について理解を深めるとともに、文化財保護意識の浸透を図る」目的で行っている事業である。今年は 6 月に「上総国一之宮の文化財をめぐる」、10 月に「みなとまち木更津の文化財をめぐる」、12 月に「本佐倉城跡と周辺の文化財をめぐる」と題し、合計 3 回実施した。

専門職員の解説を聞き、自分の目で地元の歴史に触れることができる「小旅行」である。



「文化財探検隊」一宮町散策の様子

2 「土器ッと古代“宅配便”」

「出土文化財管理活用事業」では、①「土器ッと古代“宅配便”」②授業に役立つ学習キット作製・配付③発掘調査現場と周辺の文化財を併せて紹介する現地見学会を行っている。

その中の①「土器ッと古代“宅配便”」は学校を中心として公民館などの社会施設、子どもルーム、博物館などを対象に実施している事業であり、年間平均して約 120 件程度の依頼に対応している。内容は本県出土の土器・石器を持参しての解説、特に「本物」に触れる体験を重視している。また「火起し」「勾玉づくり」などの古代体験学習や縄文土器のレプリカを使用した煮炊き（縄文鍋）を行うなど、様々な要望に対応している。



火起こしの様子



煮炊きの様子

この事業は、これまで主に小学校からの要望が多かったが、最近では特別支援学校や中学校の特別支援学級、家庭教育学級からの依頼も増えている。

今後は、学校だけでなく公民館などの社会教育方面にも活動を広げ、千葉県の歴史に身近に触れる機会を増やしていきたいと思う。

〔この件に関する問い合わせ先〕

県教育庁教育振興部文化財課

文化財普及・管理班 TEL 043-223-4130

千葉教育 葉 (No.654) 平成31年2月6日発行

編集・発行 千葉県総合教育センター (代表) 秋元 大輔

〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-13 TEL 043-276-1204

URL <https://www.ice.or.jp/nc/>

印刷所 株式会社白樺写真工芸

〒263-0002 千葉市稲毛区山王町102-5 TEL 043-423-1101